

# はもりあ

「はもりあ」とは造語で、女性と男性の協働という素敵な“ハーモニー”が奏でられる“中核エリア”という意味です。  
2006年10月に公募で決定した男女共同参画センターの愛称です。

2018年1月発行

あけましておめでとうございます。本年も皆様のますますのご活躍をお祈りしております。  
活躍と言えば、四日市市出身の小説家、四日市市観光大使でもある伊吹有喜さんが直木賞に2度目のノミネートをされました。選考会は1月16日だそうです。地元出身の方が活躍されるのは、うれしいことですね。  
今年もはもりあでは、性別にかかわらず一人ひとりがその個性と能力を発揮して活躍できる社会の実現を目指していきます。

## さんかくカレッジ2017 育休後職場復帰セミナー 受講者募集中! 「～夫婦で考える これからの仕事と子育て～」

育児休業を取得したものの、職場復帰に不安を感じている人のために、実際に育児休業を取得し、復帰されたご夫婦の体験談を聞き、パートナーとしてお互いに何ができるのかを考えます。

|     |                                                                               |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------|
| 日時  | 平成30年1月20日(土) 10:00~12:00                                                     |
| 対象  | 市内に在住、通勤、通学する育休中または育休予定の人とそのパートナー(1人での参加も可能です)                                |
| 場所  | 本町プラザ3階 はもりあ四日市 会議室                                                           |
| 参加費 | 無料 定員 6組程度(先着順)                                                               |
| その他 | 託児有(6カ月~小学3年生程度まで、無料。1/13までに要事前申込み)                                           |
| 申込み | 参加ご希望の方は、講座名、住所、名前、電話番号、託児の有無(託児希望の場合は預ける子どもの名前と年齢)を電話かFAX、またはEメールで「はもりあ四日市」へ |



## さんかくカレッジ2017市民企画講座 受講者募集中!

### 「子どもも自分もどっちも大事! 子育て力を内側からアップする講座」

企画・運営：NPO 法人 体験ひろば☆こどもスペース四日市

子どもも大人も「自分のチカラ」で育っていけることを学んで、明日からの子育てをもっと楽しんでみませんか

|                                                                                   |                                                                                                                                 |                                                                                                      |
|-----------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>第1回 2/12(月)<br/>「自分のルーツを感じよう<br/>～助産師による命の授業～」</p> <p>講師 下村 孝枝さん<br/>(助産師)</p> | <p>第2回 2/17(土)<br/>「自分のチカラを信じよう<br/>～エンパワメントってなんだろう～」</p> <p>講師 浜田 進士さん<br/>(あらんの家(小規模児童養護施設)ホーム長<br/>子どもの権利条約総合研究所 関西事務所長)</p> | <p>第3回 2/24(土)<br/>「身近なことから、<br/>考えてみよう」</p> <p>講師 水谷 孝子さん<br/>(NPO 法人体験ひろば☆<br/>こどもスペース四日市 理事長)</p> |
|-----------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|     |                                                                               |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------|
| 対象  | 市内に在住、または通勤、通学し、子育てに興味のある方で全3回参加できる方                                          |
| 場所  | 本町プラザ2階 第1会議室                                                                 |
| 時間  | 13:30~15:30                                                                   |
| 参加費 | 全3回通して1,000円 定員 30名(先着順)                                                      |
| その他 | 託児有(6カ月~小学3年生程度まで、無料ですが2/2までに要事前申込み)                                          |
| 申込み | 参加ご希望の方は、講座名、住所、名前、電話番号、託児の有無(託児希望の場合は預ける子どもの名前と年齢)を電話かFAXまたはEメールで「はもりあ四日市」まで |

# 事業報告

# ワーク・ライフ・バランスシンポジウムを開催しました!!

日時:11月24日(金)10:00~12:00 場所:四日市商工会議所ホール1

『先進事例に学ぶ!! 女性も男性も活躍するための働き方改革』をテーマに、市内企業の人事管理者・労務担当者及び市役所管理職を対象に開催しました。

シンポジウムは3部構成で、**第1部**は、市長が『ワーク・ライフ・バランスで四日市を元気に!!』と題し、「市役所も全職員に実施したアンケートをもとに、改革を行い、民間企業と共にワーク・ライフ・バランスを進めていくので、四日市市全体を働きやすい都市にしていきたいと思います」とプレゼンテーションされました。

**第2部**は、『働き方改革の課題・取組』をテーマに、コーディネーターに(株)ワーク・ライフバランスの大西友美子さん、パネリストに北伊勢上野信用金庫の澤田昌幸さん、住友電装(株)の橋本純弥さん、(一財)食品分析開発センターSUNATECの前田明子さん、(株)プラトンホテルの福原康介さん、そして市役所人事課の川口純史さんを迎え、働き方改革を始めた理由、実際の取組内容、成果について、パネルディスカッションしました。

**第3部**は、パネリストも交え、参加者によるワークショップをしました。各テーブルで今抱えている課題を出し合い、その中の一つについて解決策を話し合いました。最後に参加者全員が、ワークショップを踏まえて、今日から何を実行するかを宣誓書に記入し、記念写真を撮影して終了しました。

参加者からは、「他社の具体的な取組事例が聞いて参考になりました」「働き方改革へのアプローチが別の角度で考えることができた」などの感想が寄せられました。今後も、四日市市全体のワーク・ライフ・バランスが進むよう取り組んでいきます。



【市長のプレゼンテーション】



【パネルディスカッション】



【宣誓書を持って記念撮影】

## さんかくカレッジ(市民企画) 事業報告

今年度の「はもりあ四日市」登録グループの企画・運営による「さんかくカレッジ2017市民企画」4企画のうち2つの講座が終了しました。

### 再就職を迷う女性のための人生設計 ~私のストーリー&交流会~

#### NPO法人ワークスタイルデザイン

働きたいけれど迷っている女性向けに、自分自身を見つめ直し、これからの自分の人生設計をつくる講座を開催しました。

第1回と第2回は、子育てや介護をしながら仕事を続けてきた先輩ママの体験談をお聴きした後、第1回目はエゴグラム心理テストによる自己分析から自分を知り、なりたい自分について考え、第2回目は各自5年後の目標を決めて、自分のロードマップを作成しました。最終の第3回は参加者同士の交流会として、これからの働き方の不安や仕事と家事の両立の問題点などについて話し合いました。

少人数の講座でしたが、アンケートで「体験談がとても興味深かった」「女性向けセミナーならではの講座で充実した時間をすごす事ができた」等、うれしい声をいただきました。

### じいの出番だ! まかせとき!

#### シニアサークル「男の囲炉裏端」の会

定年後男性の育児参画をテーマに、“孫育て講座”を3回連続講座で開催しました。

第1回目は「じい! 歌の出番だよ!」ということで、孫と一緒に絵描き歌や身近にあるもので楽器を作り、歌にあわせて演奏をしました。第2回目は調理実習で、家で簡単にできる“からあげ丼”を作りました。最終回は、絵本の読み聞かせのコツや紙芝居の読み方のコツを学びました。参加者のみなさんは、どの回も意欲をもって熱心に取り組まれていました。

講座を企画・運営された“シニアサークル「男の囲炉裏端」の会”の志田代表は、『男性は現役時代に子育てを余りできなかった分、定年後は空いた時間を孫育てに専念するのもよいことですね』と話されました。



【孫と一緒に】

# 「女性に対する暴力をなくす運動」期間の取組報告

はもりあ112号でお知らせしました「女性に対する暴力をなくす運動」期間中（11月12日から25日）に、はもりあ四日市が行った取組み（パープルリボンプロジェクト）の報告です。

## 11月21日ショッピングモールでの街頭啓発



四日市人権擁護委員協議会さんと四日市北警察署さんにご協力いただき、啓発物品を配りました。



内閣府HPに掲載されているパープルリボンを付けた「このにゅうどうくん」

## はもりあミーティングフロアでの展示（11月25日まで）



パープルリボンを紹介したパネル、暴力に対するメッセージカードを貼ったパネル、「ストップザDV!」ののぼりを展示しました。



来館者の皆さんに、パープルリボンを着て対応いたしました。

### 今日のキーワード

1時間23分

「平成28年社会生活基本調査」の結果が、総務省統計局から今年9月に公表され、6歳未満の子供を持つ夫・妻の週全体1日当たりの家事関連時間（注※）は、夫が1時間23分、妻が7時間34分でした。

平成23年の調査では、夫が1時間7分、妻が7時間41分で、5年前に比べると、夫は16分増加し、妻は7分減少したことになります。

平成8年の調査結果と比較すると、この20年で、夫の家事関連時間は45分増加し、妻は4分減少しています。主な内訳を見ると、夫は「家事」で12分、「育児」で31分増加しています。一方、妻は「家事」で1時間1分減少していますが、「育児」で1時間2分増加しています。さらに共働き世帯で見ると、夫の家事関連時間は26分増加していますが、妻の仕事時間は11分減少し、家事関連時間は21分増加しています。

今、男性の家事・育児参画のためにもワーク・ライフ・バランスを進めていますが、夫の家事関連時間が増えていったとしても、妻の家事関連時間は減っていくのでしょうか。女性が活躍する社会を目指すためには、環境整備と併せて、意識の改革も必要と考えます。

注※家事関連時間：「家事」「介護・看護」「育児」「買い物」の合計時間

男女  
共同

## あいさんかくeye

このコーナーでは、はもりあ四日市のスタッフが、本を読んだり、映画を観たり、お話を聞いたり、また、日々の生活の場面で感じたことを綴っていきます。もちろん、『男女共同参画』の視点 ✨ を通してね。

相談室でのより充実した相談をめざし、弁護士から指導や助言をいただいています。

先日、「面会交流」について、お話を伺いました。

『面会交流は、両親の離婚や別居によって、離れて暮らす親と子が会って親子としての時間を過ごすことです。別居親と会うことは、子の成長や発達にとって必要』（※注）と、裁判所は積極的に面会交流を進めていますが、子どもにとって安心かつ安全な「面会交流」であるかが重要なことです。父親のDVが原因で離婚した父親と面会交流中の子どもが父親に殺された事件は、「面会交流」ありきのもとで起こるべくして起きた事件で、相談に携わる者にとって大きな衝撃でした。

『面会交流が円滑に実施できるように専門のスタッフが、連絡調整、実施場面での援助』（※注）をしてくれ安心して安全な面会交流する場として、公益社団法人家庭問題情報センター名古屋ファミリー相談室（FPIC）があります。残念なことに、三重県にこのような場はありません。同居親が安心して、子どもを別居親との面会交流に送り出せる場が身近にあれば、調停等でもめることも少なくなるのではないかと考えます。

（※注）：公益社団法人家庭問題情報センター名古屋ファミリー相談室リーフレット抜粋

【次世代の幸せを願うM】

# 登録グループイベント情報



## 学びのプログラム 「絵本のある子育て」

〈主催〉

NPO法人四日市まんなかこどもステーション

日時 平成30年1月23日(火) 10時～12時  
 場所 本町プラザ 2階第1会議室  
 講師 坂倉加代子さん  
 定員 20名  
 参加費 500円  
 託児 有り 1人500円(2人目から250円)



お問い合わせ・申込みは  
 NPO 法人四日市まんなかこどもステーション  
 四日市市西町2-12  
 ☎059-351-6670  
 FAX059-351-6679

平成30年2月3日(土)、4日(日)に行われるはもりあフェスタの内容が決定しました!

共同地区子ども誼訪太鼓の皆さんの演奏による**オープニング**、登録グループ(男女共同参画社会の実現に賛同・協力いただいている市民活動団体)企画の**ワークショップ**、手作り品の販売やマッサージなどのサービス提供を行う**チャレンジショップ**、登録グループの方々をパネリストに迎えたパネルディスカッションを行う**エンディング**など、今年も盛りだくさんの内容で実施します!是非、お立ち寄りください。お待ちしております。



## 図書コーナーに新しく入った本

色々な角度から男女共同参画を視ていただくため、さまざまなジャンルの本を揃えています。

### 『すごいとしよりBOOK』

池内紀/著  
 人生の楽しみは70歳からの「下り坂」にあり。

### 『子どもの貧困連鎖』

保坂渉、池谷孝司/著  
 日本の子どもの6人に1人が貧困状態にある。現代社会に隠された真実を暴く衝撃のノンフィクション。

### 『女たちの避難所』

垣谷美雨/著  
 段ボールの仕切りもない監視社会。男尊女卑が蔓延り、虐げられた女たちは静かに怒り、立ち上がる。

### 『母ではなくて、親になる』

山崎ナオコーラ/著  
 妻は作家で、夫は町の書店員。妊活、健診、保育園落選... 赤ん坊が1歳になるまでの親と子の驚きの毎日。

### 図書の貸し出し期間

★新刊は2週間  
 ★新刊以外は1カ月間

### 『ヒロのちっじょ』

佐藤美沙代/著  
 彼には、ちょっと変わった癖やこだわりがある。そこには彼の世界が詰まっている。その無数のこだわりのなかに、ヒロの「秩序」があるのだ。

○●◎あとかぎ◎●○

1月と言えば、正月、箱根大学駅伝、成人式、センター試験、新年会などが連想され、中でも正月は最大の国民的イベントです。正月にはお年玉、お屠蘇、お雑煮、年賀状、初詣、福袋というのがよく見る風景かと思いますが、私はお屠蘇代わりの日本酒をいただきながら、今年も行雲流水でやっていければと思っています。皆さんは、どのような正月を迎えられたのでしょうか。今年もよろしく願いいたします。



四日市市男女共同参画センター (はもりあ四日市)

〒510-0093 四日市市本町 9-8 本町プラザ 3F

TEL.059-354-8331 FAX.059-354-8339

●開館時間 AM9:00~PM9:00

●休館日 日曜日、月曜日、祝日、年末年始

Eメール kyoudousankaku@city.yokkaichi.mie.jp

http://www.city.yokkaichi.mie.jp/danjo/index.shtml